○グループ会社又は他の特定石油精製業者との契約に基づくバイオエタノールの利用の目標量の増減に係る事項【単位：原油換算】

グループ会社又は他の特定石油精製業者との契約に基づく利用の目標量の増加	
事業者名	増加量
	キロリットル
合計(H)	キロリットル

グループ会社又は他の特定石油精製業者との契約に基づく利用の目標量の減少	
事業者名	減少量
	キロリットル
合計(I)	キロリットル

注）グループ会社については、事業者との関係を示す資料を添付すること。他社との契約については、契約書の写しを添付すること。

○前年度（4 月～3 月）においてバイオエタノールの利用の実績量がバイオエタノールの利用の目標量を上回る際の実績量と目標量の差分【単位：原油換算】

前年度において実績量が目標量を上回る際の実績量と目標量の差分(J)	キロリットル

注）Ⅲで算出する値（O）を記載すること。

○前年度（4 月～3 月）においてバイオエタノールの利用の実績量がバイオエタノールの利用の目標量を下回る旨の届出に係る事項【単位：原油換算】

前年度において実績量が目標量を下回る際の実績量と目標量の差分(K)	キロリットル

注）届出の写しを添付すること。

○当年度におけるバイオエタノールの利用の目標量【単位：原油換算】

当年度(　　年度)の調整後の利用の目標量(L) **G＋H－I－J＋K**	**キロリットル**

Ⅲ　前年度におけるバイオエタノールの利用の状況

○前年度におけるバイオエタノールの利用の目標量と実績量

	単位:原油換算	単位:エタノール換算
前年度の利用の目標量(M)	キロリットル	
前年度の利用の実績量(N)	キロリットル	キロリットル
N－(M－K)　(O)	キロリットル	

注）前年度のバイオエタノールの利用の目標量（N）は、前年度の非化石エネルギー源の利用目標達成計画において経済産業大臣に提出した調整後のバイオエタノールの利用の目標量の値を記載すること。

注）エタノール換算から原油換算に変換する際には、エタノール換算で表した数量に 0.607 を乗じて得た数量を使用すること。キロリットル位未満の端数がある場合には、その端数を切り捨ててキロリットル位にとどめること。

注）バイオエタノール由来のエチル―ターシャリ―ブチルエーテル（以下「ETBE」という。）の数量をバイオエタノールの数量（エタノール換算）に変換する際には、ETBE 数量に 0.4237 を乗じて得た数量を使用すること。キロリットル位未満の端数がある場合には、その端数を切り捨ててキロリットル位にとどめること。

○導入したバイオエタノールのＧＨＧ排出削減効果

原料	原産国	土地利用変化の有無	食料競合、生態系及び環境への影響の有無	ＧＨＧ排出削減効果	前年度の利用の実績量(単位：エタノール換算)
				%	キロリットル
				%	キロリットル
			計	%	キロリットル

注）各欄に記載した事項について、その内容を証する書類を添付すること。

Ⅳ　その他非化石エネルギー源の利用の目標を達成するために計画的に取り組むべき措置に係る事項

①草本、木本等のセルロース、藻類又は廃棄物等を原料として製造される、食料と直接競合せず、生態系や水質等の自然環境への影響の少ないバイオ燃料の技術開発の推進及びその導入に関する措置に係る計画
